

ぶどうの栽培技術向上を目指した指導会の実施

■背景とねらい

管内でバラツキが課題となっているぶどう「シャインマスカット」の品質について、高位平準化を図るため、栽培経験の少ない農家を対象に組織した南信州シャインマスカット研究会を中心に、栽培技術の習得及び向上を図った。

■本年度の取組

1 栽培技術向上研修会の開催

(1) 適期収穫講習会

ぶどう「シャインマスカット」が収穫期に入る9月中旬に、今年度の生育状況や適期収穫方法について指導を行った。また、参加者に果房のサンプルを持ち寄ってもらい、糖度や着色などの熟度調査を実施した。

(2) 幼木管理、凍害対策研修会

11月にほ場に定植して概ね3年目までの幼木の管理方法と春先の凍害対策を中心に会員のほ場で指導を行った。

(3) 生理障害、病害対策研修会

2月に本年度全県で問題になった生理障害と黒とう病について知識を深めるための座学形式で実施した。

(4) アンケート調査の実施

研究会員に対し、技術の習熟度や本年の栽培上の課題等についてアンケート調査を実施し、18名から回答があった。

■本年度の成果

1 栽培技術向上研修会の開催

(1) 適期収穫講習会

会員36名が出席し、そのうち16名に果房のサンプルを提出していただいた。実際に果房を見ながら収穫期の判断方法について学ぶことができ、出席者からは好評だった。

(2) 幼木管理、凍害対策研修会

松川町と飯田市の2会場で開催し、併せて会員40名の出席があった。凍害対策では、わら巻き

方法について実演を交えながら指導を実施したところ、参加者からの関心が高く、巻き方について理解が深まったなどの声をいただいた。



幼木管理方法についての指導の様子

(3) 生理障害、病害対策研修会

46名の会員が出席した。特に、当管内で本年度大発生し問題となった「黒とう病」の防除対策として、巻きひげなどの越冬源の除去や薬剤防除について理解を深めることができた。また、35粒程度の房型を統一するためのリーフレットを作成、配布して果房管理技術の徹底を呼び掛けた。

(4) アンケート結果に基づく課題整理

実施したアンケートにより、会員が習得したい技術や課題を明確化でき、次年度の取組として課題別に小集団の研究活動を行うことにした。

■今後の課題と対応

本年度、感染症予防のため、生育期に講習会が開催できなかった。次年度は幼木管理や果房管理技術の講習会を生育期間中に実施する。また、研究会員が主体となって取り組む課題別の小集団活動により、栽培技術の向上を目的とした課題解決支援を行う。

2月の講習会で配布したリーフレットを基に、高品質生産技術の習得を図るための講習会も実施し、次年度実施予定の県のコンクールへの出品を目指す。
(技術経営係:田邊 友樹)